

# 一問一答

# マクロ経済学

簡易版 2.0

	簡易版	有料版
1. 財市場	23問	97問
2. 貨幣市場	25問	60問
3. IS-LM分析	35問	93問
4. 労働市場	56問	187問
5. 経済成長理論	23問	97問
6. 国際マクロ経済学	69問	176問
(補論)	0問	63問
合計	231問	773問

経済学道場

本テキストの無断転載を禁止します。

## このテキストの特色

ダウンロードいただきありがとうございます。

この『一問一答 マクロ経済学(簡易版)』は同「有料版」の中から重要なものを厳選したものです。

もともと「有料版」はなるべく楽に基礎知識を確認できるように作ったものです。書店でみかけるテキストで一問一答形式のものはいろいろありますが、なかなか理想的なものがありません。

(従来の多くのテキストの問題点)

- ・解答欄が小さかったり、解答欄が設問の左側にあたりして書きにくい。
- ・文字が小さすぎてわかりにくい。
- ・多色刷りでかえってわかりにくい。
- ・1つの設問の中に空欄がいくつもあって解けた気がしない。
- ・「何を聞かれているのか」分かりにくく、読み直す必要があって時間がかかる。

このテキストはこれらの問題点を極力改善したものです。

## 使い方

あくまでも入門編、基礎の基礎としてお使いください。この内容だけでは公務員試験や資格試験の実際の設問を解くのは難しいと思います。ぜひ別のテキストや実際の過去問に当たってください。

**最初は何もできなくて当然です。  
どんどんやって、どんどん忘れていきましょう。**

経済学道場 神林邦明

# 設問編

# 1.財市場

## ①国民所得統計

有料版  
番号

<input type="checkbox"/>	1	国民所得に関する付加価値は「総生産額 - ( )」で求められる。	12
<input type="checkbox"/>	2	国内で、一定期間に生み出された付加価値を集計したものを( )という。	13
<input type="checkbox"/>	3	ある国の国民が、一定期間に生み出した付加価値を集計したものを( )という。	15
<input type="checkbox"/>	4	= 「 GDP + ( ) からの純所得」	17
<input type="checkbox"/>	5	国内純生産(NDP) = 「 GDP - ( ) 」	19

## ②三面等価の原則

<input type="checkbox"/>	6	三面等価の原則とは、国民所得が( )面・( )面・( )面のいずれからみても恒に等しいことをいう。	25
<input type="checkbox"/>	7	① 生産面 GDP = ( ) [記号: ]	26
<input type="checkbox"/>	8	② 支出面 = ( + + + - )	27
<input type="checkbox"/>	9	③ 分配面 = 雇用者所得 + 営業余剰 + 財産所得 + ( - ) + 固定資本減耗	28
<input type="checkbox"/>	10	③ 分配面 = ( 消費 + + )	29

## ③産業連関表 (保留)

## ④財市場の均衡(基本モデル)

<input type="checkbox"/>	11	ケインズ派の経済学の考え方の基礎には、「総需要が総供給を決定する」というものがある。これを( )の原理)という。	40
<input type="checkbox"/>	12	(最も単純な国民所得決定モデル)政府と海外部門が無いと仮定する。この場合の需給均衡式は「( = )」となる。	41
<input type="checkbox"/>	13	消費に関しては消費関数を設定する。所得に関係なく必要となる消費を( ) という(ここではC <sub>0</sub> とする)。	42
<input type="checkbox"/>	14	所得が1単位増加したときの消費の増加分を( )とよぶ(ここではc <sub>1</sub> とする)。	43
<input type="checkbox"/>	15	消費関数は「(C = )」となる。	45
<input type="checkbox"/>	16	(12)に(15)を代入する。投資(I)は外生変数(定数)「I」とする。均衡国民所得Y*をもとめると、「(Y* = )」となる。	48
<input type="checkbox"/>	17	ここで、右辺の 1/(1-C <sub>1</sub> ) は( )とよぶ。	49

<input type="checkbox"/>	18	45度線分析をおこなう。横軸に総分配(Y)をとり、縦軸に総需要( $Y_D$ )と総供給( $Y_S$ )をとる。ここで45度線で表されるのは、(総供給or総需要)のグラフである。		51
<input type="checkbox"/>	19	総需要のグラフを描いた場合、(12)のモデルでは、縦軸切片は( )となる。	-	52
<input type="checkbox"/>	20	ここで、グラフの傾きは( )となる。		53

### ⑤インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ

<input type="checkbox"/>	21	財市場が均衡しており、労働市場が完全雇用状態にある国民所得を( )国民所得)という。		55
<input type="checkbox"/>	22	均衡国民所得 > 完全雇用国民所得 の水準のときは( )・ギャップ)が発生している。		56
<input type="checkbox"/>	23	均衡国民所得 < 完全雇用国民所得 の水準のときは( )・ギャップ)が発生している。		57

### ⑥政府部門を含むモデル (保留)

### ⑦海外部門も含むモデル (保留)

## 2. 貨幣市場

### ① 貨幣市場と債券市場

□	24	資産市場とは、( )と( )が交換される市場である。	98
□	25	債券とは、財と交換はしにくい( )を生む資産である。	100
□	26	資産を貨幣と債券のどちらで保有するかは、( )を考慮に入れる必要がある。	101
□	27	債券価格は市場利子率と( )する。	102

### ② 貨幣需要

□	28	貨幣需要の要因 ①財の取引に使用するための( )動機。	108
□	29	貨幣需要の要因 ②将来の不確実な支払に備えるための( )動機。	109
□	30	貨幣需要の要因 ③資産運用のための( )動機。	110

□	31	ケインズ派の貨幣需要関数は、「( )説)」にもとづく。	111
□	32	(28)と(29)の貨幣需要は( )の関数)と仮定する。	112
□	33	(30)の貨幣需要は( )の関数)と仮定する。	113
□	34	↑の理由。利子率の下落 → (債券価格の )→	114
□	35	→債券保有による儲けが見込めないため、(貨幣需要は )する。	115

□	36	古典派の貨幣需要関数は、「( )説)」にもとづく。	116
□	37	↑によれば、貨幣数量の変化は、国民所得の大きさに影響を与えず、( )を比例的に変化させるだけである。	117
□	38	マネーサプライを(M)、貨幣の流通速度を(V)、物価水準(P)、取引量(T)として「フィッシャーの交換方程式」を示せ。	118
□	39	この式の取引量(T)を国民所得(Y)と置き換え、両辺をVで割ると「( = )」となる。	122
□	40	ここで「 $1/V$ 」を「k」(マーシャルのk)と置きかえると、「( = )」となる。	
□	41	この式の両辺を(P)で割ると、「( = )」となる。の左辺は、(マネーサプライ)を表している。なおこの左辺は「実質マネーサプライ」を示すことになる。	124

### ③ 貨幣供給

□	42	初めに受け入れた預金の何倍もの派生的預金が市中金融機関全体に発生することを( )という。	130
---	----	--	-----

□	43	金融機関が預金のうち支払の準備として残しておくべき比率を( )という。		131
□	44	本源的預金を(d)、↑を(r)とすると、預金総額(D)は、「 $(D = \quad)$ 」となる。		132
□	45	中央銀行が直接コントロールできる貨幣量を( )とよぶ。		133
□	46	↑を(H)で表すと、「 $(H = \quad + \quad)$ 」となる。		134
□	47	マネーサプライを(M)で表すと、「 $(M = \quad + \quad)$ 」となる。		135
□	48	(45)を1単位増加させたときのマネーサプライの増加分を( )という。ここでは(m)で表すと、「 $M = mH$ 」となる。		136

#### ④金融政策 (保留)

## 3.IS-LM分析

### ①IS-LM分析

□	49	IS曲線は、( )市場を均衡させる↓	158
□	50	↓( )と( )の組合せを示す。	159
□	51	LM曲線は、( )市場を均衡させる↓	161
□	52	↓( )と( )の組合せを示す。	162
□	53	(IS-LM曲線の導出) ( )は一定と仮定する。	164
□	54	(IS-LM曲線の導出) ( )は無いと仮定する。	165
□	55	一般的にIS曲線の形状は(右 )である。	166
□	56	(IS曲線の導出) 投資は( )の( )関数と仮定する。	167
□	57	利子率が低下すると、( )が( )し↓	168
□	58	↓( )が( )するため、↓	169
□	59	↓( )水準が増加する。	170
□	60	一般的にLM曲線の形状は(右 )である。	178
□	61	(LM曲線の導出) 貨幣の取引需要と予備的需要は( )の( )関数と仮定する。	179
□	62	貨幣の投機的需要は( )の( )関数と仮定する。	180
□	63	国民所得が増加すると、( )が( )し↓	181
□	64	↓貨幣市場は(超過 )になる。↓	182
□	65	↓このとき、債券市場は(超過 )になるため、↓	183
□	66	↓(債券価格は )する。	184
□	67	↓債券価格は( )の( )関数であると仮定すると、↓	185
□	68	↓(利子率は )する。↓	186
□	69	IS曲線とLM曲線の交点では、( )と( )の同時均衡が達成する ↓	194



□	70	↓(      と      )の組合せが示されている。	195
---	----	------------------------------	-----

## ②財政政策と金融政策(1)基本

□	71	横軸に国民所得(Y)、縦軸に利子率(r)を取ったグラフでIS曲線とLM曲線を分析する。拡張的な財政政策をおこなった場合、(      曲線が      方シフト)する。	202
□	72	よって、均衡(国民所得は      )し、↓	203
□	73	↓均衡(利子率は      )する。	204
□	74	もし、利子率が↑のようにならないと、国民所得はもっと増えたはずである。このように、政府支出の増大などが民間部門の(      を阻害)することを↓	205
□	75	↓(      )という。	206

□	76	拡張的な金融政策をおこなった場合、(      曲線が      方シフト)する。	207
□	77	よって、均衡(国民所得は      )し、↓	208
□	78	↓均衡(利子率は      )する。	209

## ③財政政策と金融政策(2)応用

□	79	(流動性のわな) 流動性のわなとは、利子率が(きわめて      )水準に達し、↓	215
□	80	↓貨幣の投機的需要が利子率に対して(ゼロ or 無限大)となる状態である。	216
□	81	流動性のわなが発生しているとき、(      曲線は      )の形になる。	221
□	82	流動性のわなが発生しているとき、財政政策は(有効 or 無効)である。	222
□	83	流動性のわなが発生しているとき、金融政策は(有効 or 無効)である。	224

## 4.労働市場

### ①AD曲線

<input type="checkbox"/>	84	AD曲線(総需要曲線)は、( )と( )を同時に均衡させる↓	253
<input type="checkbox"/>	85	↓( )と( )の組合せを示す。	254
<input type="checkbox"/>	86	一般的にAD曲線は(右 )の形になる。	255
<input type="checkbox"/>	87	(理由)IS-LM曲線を想定する。物価が下落した場合、( )が( )するため、↓	256
<input type="checkbox"/>	88	↓( )曲線が( )し、↓	257
<input type="checkbox"/>	89	↓(利率は )し、↓	258
<input type="checkbox"/>	90	↓(国民所得は )する。よって、AD曲線は(5)の形になる。	259
<input type="checkbox"/>	91	拡張的な財政政策をおこなった場合、( )曲線が( )する。	271
<input type="checkbox"/>	92	同じ物価水準のもとで、( )が( )ため、↓	272
<input type="checkbox"/>	93	↓(AD曲線は )シフト)する。	273
<input type="checkbox"/>	94	拡張的な金融政策をおこなった場合、( )曲線が( )する。	275
<input type="checkbox"/>	95	同じ物価水準のもとで、( )が( )ため、↓	276
<input type="checkbox"/>	96	↓(AD曲線は )シフト)する。	277

### ②AS曲線

<input type="checkbox"/>	97	(古典派)AS曲線(総供給曲線)とは、( )が( )物価と国民所得の組合せを示す。	280
<input type="checkbox"/>	98	(ケインズ派)AS曲線(総供給曲線)とは、( )が( )物価と国民所得の組合せを示す。	281
<input type="checkbox"/>	99	古典派のAS曲線は( )国民所得)の水準で↓	300
<input type="checkbox"/>	100	↓( )の形になる。	301
<input type="checkbox"/>	101	物価(P)が上昇すると、( )賃金率が( )する。	303
<input type="checkbox"/>	102	このとき、(労働 は )する)ため、↓	304
<input type="checkbox"/>	103	↓労働市場は(超過 )となる。	305
<input type="checkbox"/>	104	古典派は( )賃金率が( )であると仮定するため、↓	306

□	105	↓(賃金率は )する。↓	307
□	106	↓よって、(賃金率は )し、労働市場は均衡する。	308
□	107	労働市場ではつねに( )が達成されるため、↓	309
□	108	↓物価(P)と関係なく、つねに(国民所得)が達成される。よって古典派のAS曲線は(100)の形になる。	310
□	109	ケインズ派のAS曲線は通常は( )の形になり、	312
□	110	(国民所得)の水準で↓	313
□	111	↓( )の形になる。	314
□	112	ケインズ派は(賃金率は )的であると仮定する。	318

### ③AD-AS分析

□	113	(古典派)拡張的な財政政策をおこなうと、(曲線は シフト)する。	329
□	114	このとき(国民所得は )、↓	330
□	115	↓(物価は )。	331
□	116	よって、(財政政策は )である。	332
□	117	拡張的な金融政策をおこなうと、(曲線は シフト)する。	333
□	118	このとき(国民所得は )、↓	334
□	119	↓(物価は )。	335
□	120	よって、(金融政策は )である。	336
□	121	(ケインズ派)拡張的な財政政策をおこなうと、(曲線は シフト)する。	337
□	122	このとき(国民所得は )、↓	338
□	123	↓(物価は )。	339
□	124	よって、(財政政策は )である。	340
□	125	拡張的な金融政策をおこなうと、(曲線は シフト)する。	341
□	126	このとき(国民所得は )、↓	342
□	127	↓(物価は )。	343
□	128	よって、(金融政策は )である。	344

<input type="checkbox"/>	129	AD曲線が右上シフトしたときに物価が上昇する場合に発生するインフレーションを( )という。		346
<input type="checkbox"/>	130	AS曲線が右上シフトしたときに物価が上昇する場合に発生するインフレーションを( )という。		348
<input type="checkbox"/>	131	国民所得が減少している状態で、物価が上昇している場合を( )という。		350

#### ④フィリップス曲線

<input type="checkbox"/>	132	フィリップス曲線では、( )と↓		351
<input type="checkbox"/>	133	↓( )の間の↓		352
<input type="checkbox"/>	134	↓( )関係を表す。		353
<input type="checkbox"/>	135	物価版フィリップス曲線では、( )と↓		359
<input type="checkbox"/>	136	↓( )の間の↓		360
<input type="checkbox"/>	137	↓( )関係を表す。		361
<input type="checkbox"/>	138	完全雇用が達成されているときの失業率を( )失業率という。		386
<input type="checkbox"/>	139	長期的にはフィリップス曲線はこの水準で( )の形となる。		387

#### ⑤IAD-IAS曲線 (保留)

## 5.経済成長理論

□	140	最適成長(均斉成長)とは、( )市場が均衡している↓	438
□	141	↓( )成長率)と、	439
□	142	↓完全雇用が達成されている( )成長率)が一致している状態である。	440

### ①ハロッド＝ドーマー・モデル

□	143	資本係数( $v$ )とは、生産量1単位を生産するのに必要な( )を示している。	441
□	144	国民所得( $Y$ )と資本( $K$ )を用いて資本係数を求めると、「( $v =$ )」となる。	442
□	145	ハロッド＝ドーマー・モデルでは、結論として最適成長は( )ことを示している。	443
□	146	このモデルでは、生産関数は( )型を想定しているため、↓	444
□	147	↓資本係数( $v$ )は( )的である。	445
□	148	保証成長率( $G_w$ )を、貯蓄率( $s$ )と資本係数( $v$ )で表すと、「( $G_w =$ )」となる。	446
□	149	資本減耗があると仮定すると、保証成長率( $G_w$ )は、「( $G_w =$ - )」となる。	465
□	150	労働市場で完全雇用が達成されている自然成長率( $G_n$ )は、( )増加率)と等しい。	466
□	151	技術進歩があると仮定すると、自然成長率( $G_n$ )は、「( $G_n =$ + )」となる。	467
□	152	以上をまとめると、最適成長条件( $G_w = G_n$ )は、「( = )」となる。	468

### ②新古典派成長モデル

□	153	新古典派モデル(ソロー＝スワン・モデル)では、結論として最適成長は( )ことを示している。	474
□	154	このモデルでは、生産関数は( )型を想定しているため、↓	475
□	155	↓資本係数( $v$ )は( )的である。	476
□	156	この生産関数について、資本と労働は( )的で、↓	477
□	157	これに対して、新古典派モデル(ソロー＝スワン・モデル)では、保証成長率を、貯蓄率( $s$ )と1人当たり生産量( $y$ )と資本装備率( $k$ )を用いて、「( $G_w =$ )」とあらわす。	483
□	158	1人当たり生産量( $y$ )は、国民所得( $Y$ )と労働人口( $L$ )を用いてあらわすと、「( $y =$ )」となる。	484
□	159	資本装備率( $k$ )は、資本( $K$ )と労働人口( $L$ )を用いてあらわすと、「( $k =$ )」となる。	485
□	160	労働市場で完全雇用が達成されている自然成長率( $G_n$ )は、( )増加率)と等しい。	502
□	161	よって、最適成長条件( $G_w = G_n$ )は、「( = )」となる。	503
□	162	資本減耗と技術進歩があると仮定すると、「( = )」となる。	504

### ③経済成長の要因分解 (保留)

## 6. 国際マクロ経済学

### ① 国際収支

□	163	一定期間内の一国全体の対外経済取引をまとめたものを( 収支)(balance of payments)といい、↓	535
□	164	↓おもに財などのやりとりを示す( 収支)(current balance)と、↓	536
□	165	↓資産・負債などのやりとりを示す( 収支)(balance of capital account)に分けることができる。	537
□	166	一般的には、国際収支の均衡とは、「( + = )」となる状態を示す。	545

### ② 為替レートの決定

□	167	為替レートの表示の方法について。「1ドル=～円」や「1ユーロ=～円」のような表示を( 建て為替レート)という。	546
□	168	「1ドル=80円」が「1ドル=100円」となる場合、(円 )と表現したり、↓	548
□	169	↓( 減価 or 増価 )と表現したり、↓	549
□	170	↓為替レートが( )したと表現する。	550

### ③ 経常収支の決定 (保留)

### ④ IS-LM-BPモデル

□	171	BP曲線とは、( )を均衡させる、↓	579
□	172	↓( と )の組合せを示す。	580
□	173	経常収支は、(自国通貨建て)為替レート(e)の( 関数)と仮定する。	582
□	174	これは、為替レート(e)の上昇は、自国通貨の(増価 or 減価)になるため、↓	583
□	175	↓輸出が( )し、↓	584
□	176	↓経常収支が( )するからである。	585
□	177	経常収支は、国民所得(Y)の( 関数)と仮定する。	586
□	178	これは、国民所得が増加すると、輸入が( )し、↓	587
□	179	↓経常収支が( )するからである。	588
□	180	資本収支は、(自国利子率－外国利子率)( $r-r^*$ )の( 関数)と仮定する。	589
□	181	これは、↑が増加すると、資本が(流 )するからである。	590

□	182	一般的にBP曲線の形状は(右 )である。	591
□	183	BP曲線の傾きは、資本移動の自由度を示す。資本移動が完全の場合、BP曲線は( )の形になる。	600
□	184	資本移動が無い場合、BP曲線は( )の形になる。	603
□	185	資本移動が完全でもなく、まったく無いでもない場合は、BP曲線の形状は( )となる。この場合、資本移動が伸縮的か、それとも硬直的かは、BP曲線の傾きで表す。この時、目印となるのは、LM曲線との関係である。	606
□	186	(1)資本移動が完全な場合、固定相場制では( 政策)が有効であり、↓	609
□	187	↓変動相場制においては、( 政策)が有効になる。	610
□	188	(1-1A)資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)財政政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	611
□	189	↓(利子率は )する。	612
□	190	このとき、(資本が )する。	613
□	191	自国通貨は(超過 )になるため、↓	614
□	192	( を維持)するために、↓	615
□	193	通貨当局は(外国通貨を )する。	616
□	194	これによって、自国通貨の流通量が国内で( )するため、↓	617
□	195	マネーサプライは( )する。	618
□	196	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	619
□	197	↓国民所得は( )。	620
□	198	よって、資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	621
□	199	(1-1B)資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)金融政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	622
□	200	↓(利子率は )する。	623
□	201	このとき、(資本が )する。	624
□	202	自国通貨は(超過 )になるため、↓	625
□	203	( を維持)するために、↓	626
□	204	通貨当局は(外国通貨を )する。	627
□	205	これによって、自国通貨の流通量が国内で( )するため、↓	628
□	206	マネーサプライは( )する。	629

<input type="checkbox"/>	207	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	630
<input type="checkbox"/>	208	↓国民所得は( )。	631
<input type="checkbox"/>	209	よって、資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	632
<input type="checkbox"/>	210	(1-2A)資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)財政政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	633
<input type="checkbox"/>	211	↓(利子率は )する。	634
<input type="checkbox"/>	212	このとき、(資本が )する。	635
<input type="checkbox"/>	213	自国通貨は(超過 )になるため、↓	636
<input type="checkbox"/>	214	為替レートは( )する。	637
<input type="checkbox"/>	215	これは(増価or減価)であり、	638
<input type="checkbox"/>	216	輸出は( )するため、↓	639
<input type="checkbox"/>	217	↓経常収支は( )する。	640
<input type="checkbox"/>	218	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	641
<input type="checkbox"/>	219	↓国民所得は( )。	642
<input type="checkbox"/>	220	よって、資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	643
<input type="checkbox"/>	221	(1-2B)資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)金融政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	644
<input type="checkbox"/>	222	↓(利子率は )する。	645
<input type="checkbox"/>	223	このとき、(資本が )する。	646
<input type="checkbox"/>	224	自国通貨は(超過 )になるため、↓	647
<input type="checkbox"/>	225	為替レートは( )する。	648
<input type="checkbox"/>	226	これは(増価or減価)であり、	649
<input type="checkbox"/>	227	輸出は( )するため、↓	650
<input type="checkbox"/>	228	↓経常収支は( )する。	651
<input type="checkbox"/>	229	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	652
<input type="checkbox"/>	230	↓国民所得は( )。	653
<input type="checkbox"/>	231	よって、資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	654



# 解答編

# 1.財市場

## ①国民所得統計

有料版  
番号

□	1	国民所得に関する付加価値は「総生産額 - ( )」で求められる。	中間生産物額	12
□	2	国内で、一定期間に生み出された付加価値を集計したものを( )という。	国内総生産(GDP)	13
□	3	ある国の国民が、一定期間に生み出した付加価値を集計したものを( )という。	国民総所得(GNI)	15
□	4	= 「 GDP + ( ) からの純所得」	海外からの純所得	17
□	5	国内純生産(NDP) = 「 GDP - ( ) 」	固定資本減耗	19

## ②三面等価の原則

□	6	三面等価の原則とは、国民所得が( ) 面・ ( ) 面・ ( ) 面のいずれからみても恒に等しいことをいう。	生産面・支出面・分配面	25
□	7	① 生産面 GDP = ( ) [記号: ( )]	総生産(Y)	26
□	8	② 支出面 = ( + + + - )	消費 + 投資 + 政府支出 + (輸出 - 輸入) [C + I + G + (X - M)]	27
□	9	③ 分配面 = 雇用者所得 + 営業余剰 + 財産所得 + ( - ) + 固定資本減耗	間接税 - 補助金	28
□	10	③ 分配面 = ( 消費 + + )	消費 + 貯蓄 + 税金 (C + S + T)	29

## ③産業連関表 (保留)

## ④財市場の均衡(基本モデル)

□	11	ケインズ派の経済学の考え方の基礎には、「総需要が総供給を決定する」というものがある。これを( )の原理( )という。	有効需要の原理	40
□	12	(最も単純な国民所得決定モデル)政府と海外部門が無いと仮定する。この場合の需給均衡式は「( = )」となる。	$Y = C + I$	41
□	13	消費に関しては消費関数を設定する。所得に関係なく必要となる消費を( ) という(ここでは $C_0$ とする)。	基礎消費	42
□	14	所得が1単位増加したときの消費の増加分を( ) とよぶ(ここでは $c_1$ とする)。	限界消費性向	43
□	15	消費関数は「 $C =$ ( )」となる。	$C = C_0 + c_1 \cdot Y$	45
□	16	(12)に(15)を代入する。投資(I)は外生変数(定数)「 $\bar{I}$ 」とする。均衡国民所得 $Y^*$ をもとめると、「 $(Y^* =$ ( )」となる。	$Y^* = 1/(1 - c_1) \cdot (C_0 + \bar{I})$	48
□	17	ここで、右辺の $1/(1 - c_1)$ は( ) とよぶ。	投資乗数	49

□	18	45度線分析をおこなう。横軸に総分配(Y)をとり、縦軸に総需要( $Y_D$ )と総供給( $Y_S$ )をとる。ここで45度線で表されるのは、(総供給or総需要)のグラフである。	総供給	51
□	19	総需要のグラフを描いた場合、(12)のモデルでは、縦軸切片は( )となる。	基礎消費+投資( $C_0 + \bar{I}$ )	52
□	20	ここで、グラフの傾きは( )となる。	$1/(1 - C_1)$	53

### ⑤インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ

□	21	財市場が均衡しており、労働市場が完全雇用状態にある国民所得を( )国民所得)という。	完全雇用国民所得	55
□	22	均衡国民所得 > 完全雇用国民所得 の水準のときは( )・ギャップ)が発生している。	インフレ・ギャップ	56
□	23	均衡国民所得 < 完全雇用国民所得 の水準のときは( )・ギャップ)が発生している。	デフレ・ギャップ	57

### ⑥政府部門を含むモデル (保留)

### ⑦海外部門も含むモデル (保留)

## 2.貨幣市場

### ①貨幣市場と債券市場

□	24	資産市場とは、( )と( )が交換される市場である。	貨幣と債券	98
□	25	債券とは、財と交換はしにくい( )を生む資産である。	利息	100
□	26	資産を貨幣と債券のどちらで保有するかは、( )を考慮に入れる必要がある。	利子率	101
□	27	債券価格は市場利子率と( )する。	反比例	102

### ②貨幣需要

□	28	貨幣需要の要因 ①財の取引に使用するための( )動機。	取引動機	108
□	29	貨幣需要の要因 ②将来の不確実な支払に備えるための( )動機。	予備的動機	109
□	30	貨幣需要の要因 ③資産運用のための( )動機。	投機的動機	110

□	31	ケインズ派の貨幣需要関数は、「( )説)」にもとづく。	流動性選好説	111
□	32	(28)と(29)の貨幣需要は( )の( )関数)と仮定する。	国民所得の増加関数	112
□	33	(30)の貨幣需要は( )の( )関数)と仮定する。	利子率の減少関数	113
□	34	↑の理由。利子率の下落 → (債券価格の )→	債券価格の上昇	114
□	35	→債券保有による儲けが見込めないため、(貨幣需要は )する。	貨幣需要は増加	115

□	36	古典派の貨幣需要関数は、「( )説)」にもとづく。	貨幣数量説	116
□	37	↑によれば、貨幣数量の変化は、国民所得の大きさに影響を与えず、( )を比例的に変化させるだけである。	物価水準	117
□	38	マネーサプライを(M)、貨幣の流通速度を(V)、物価水準(P)、取引量(T)として「フィッシャーの交換方程式」を示せ。	$MV = PT$	118
□	39	この式の取引量(T)を国民所得(Y)と置き換え、両辺をVで割ると「( = )」となる。	$M = 1/V \cdot PY$	122
□	40	ここで「 $1/V$ 」を「k」(マーシャルのk)と置きかえると、「( = )」となる。	$M = k PY$	
□	41	この式の両辺を(P)で割ると、「( = )」となる。の左辺は、(マネーサプライ)を表している。なおこの左辺は「実質マネーサプライ」を示すことになる。	$M/P = kY$	124

### ③貨幣供給

□	42	初めに受け入れた預金の何倍もの派生的預金が市中金融機関全体に発生することを( )という。	信用創造	130
---	----	--	------	-----

□	43	金融機関が預金のうち支払の準備として残しておくべき比率を( )という。	法定準備率(支払準備率/預金準備率)	131
□	44	本源的預金を(d)、↑を(r)とすると、預金総額(D)は、「(D= )」となる。	$D=d/r$	132
□	45	中央銀行が直接コントロールできる貨幣量を( )とよぶ。	ハイパワード・マネー	133
□	46	↑を(H)で表すと、「(H= + )」となる。	$H=現金通貨(C)+準備金(R)$	134
□	47	マネーサプライを(M)で表すと、「(M= + )」となる。	$M=現金通貨(C)+預金通貨(D)$	135
□	48	(45)を1単位増加させたときのマネーサプライの増加分を( )という。ここでは(m)で表すと、「 $M=mH$ 」となる。	貨幣乗数	136

④金融政策 (保留)

# 3.IS-LM分析

## ①IS-LM分析

□	49	IS曲線は、( )市場)を均衡させる↓	財市場	158
□	50	↓( )と( )の組合せを示す。	国民所得と利子率	159
□	51	LM曲線は、( )市場)を均衡させる↓	貨幣市場	161
□	52	↓( )と( )の組合せを示す。	国民所得と利子率	162
□	53	(IS-LM曲線の導出) ( )は一定)と仮定する。	物価は一定	164
□	54	(IS-LM曲線の導出) ( )は無いと仮定する。	海外部門	165
□	55	一般的にIS曲線の形状は(右 )である。	右下がり	166
□	56	(IS曲線の導出) 投資は( )の (関数)と仮定する。	利子率の減少関数	167
□	57	利子率が低下すると、( )が ( )し↓	投資が増加	168
□	58	↓( )が ( )するため、↓	総需要が増加	169
□	59	↓( )水準が増加する。	均衡国民所得	170
□	60	一般的にLM曲線の形状は(右 )である。	右上がり	178
□	61	(LM曲線の導出) 貨幣の取引需要と予備的需要は( )の (関数)と仮定する。	国民所得の増加関数	179
□	62	貨幣の投機的需要は( )の (関数)と仮定する。	利子率の減少関数	180
□	63	国民所得が増加すると、( )が ( )し↓	貨幣の取引需要や予備的需要が増加	181
□	64	↓貨幣市場は(超過 )になる。↓	超過需要	182
□	65	↓このとき、債券市場は(超過 )になるため、↓	超過供給	183
□	66	↓(債券価格は )する。	債券価格は下落	184
□	67	↓債券価格は( )の (関数)であると仮定すると、↓	利子率の減少関数	185
□	68	↓(利子率は )する。↓	利子率は上昇	186
□	69	IS曲線とLM曲線の交点では、( )と( )の同時均衡が達成する ↓	財市場と貨幣市場	194

□	70	↓( )と( )の組合せが示されている。	国民所得と利子率	195
---	----	----------------------	----------	-----

## ②財政政策と金融政策(1)基本

□	71	横軸に国民所得(Y)、縦軸に利子率(r)を取ったグラフでIS曲線とLM曲線を分析する。拡張的な財政政策をおこなった場合、( )曲線が( )方シフト)する。	IS曲線が右(上)方シフト	202
□	72	よって、均衡(国民所得は )し、↓	国民所得は増加	203
□	73	↓均衡(利子率は )する。	利子率は上昇	204
□	74	もし、利子率が↑のようにならないと、国民所得はもっと増えたはずである。このように、政府支出の増大などが民間部門の( )を阻害)することを↓	投資を阻害	205
□	75	↓( )という。	クラウディング・アウト	206

□	76	拡張的な金融政策をおこなった場合、( )曲線が( )方シフト)する。	LM曲線が右(下)方シフト	207
□	77	よって、均衡(国民所得は )し、↓	国民所得は増加	208
□	78	↓均衡(利子率は )する。	利子率は低下	209

## ③財政政策と金融政策(2)応用

□	79	(流動性のわな) 流動性のわなとは、利子率が(きわめて )水準に達し、↓	きわめて低い	215
□	80	↓貨幣の投機的需要が利子率に対して(ゼロ or 無限大)となる状態である。	無限大	216
□	81	流動性のわなが発生しているとき、( )曲線は( )の形になる。	LM曲線は水平	221
□	82	流動性のわなが発生しているとき、財政政策は(有効 or 無効)である。	有効	222
□	83	流動性のわなが発生しているとき、金融政策は(有効 or 無効)である。	無効	224

## 4.労働市場

### ①AD曲線

<input type="checkbox"/>	84	AD曲線(総需要曲線)は、( )と( )を同時に均衡させる↓	財市場と貨幣市場	253
<input type="checkbox"/>	85	↓( )と( )の組合せを示す。	物価と国民所得	254
<input type="checkbox"/>	86	一般的にAD曲線は(右 )の形になる。	右下がり	255
<input type="checkbox"/>	87	(理由)IS-LM曲線を想定する。物価が下落した場合、( )が( )するため、↓	実質マネーサプライが増加	256
<input type="checkbox"/>	88	↓( )曲線が( )し、↓	LM曲線が右(下)方シフト	257
<input type="checkbox"/>	89	↓(利率は )し、↓	利率は低下	258
<input type="checkbox"/>	90	↓(国民所得は )する。よって、AD曲線は(5)の形になる。	国民所得は増加	259
<input type="checkbox"/>	91	拡張的な財政政策をおこなった場合、( )曲線が( )する。	IS曲線が右(上)方シフト	271
<input type="checkbox"/>	92	同じ物価水準のもとで、( )が( )ため、↓	国民所得が増加する	272
<input type="checkbox"/>	93	↓(AD曲線は )シフト)する。	AD曲線は右(上)方シフト	273
<input type="checkbox"/>	94	拡張的な金融政策をおこなった場合、( )曲線が( )する。	LM曲線が右(下)方シフト	275
<input type="checkbox"/>	95	同じ物価水準のもとで、( )が( )ため、↓	国民所得が増加する	276
<input type="checkbox"/>	96	↓(AD曲線は )シフト)する。	AD曲線は右(上)方シフト	277

### ②AS曲線

<input type="checkbox"/>	97	(古典派)AS曲線(総供給曲線)とは、( )が( )物価と国民所得の組合せを示す。	労働市場が均衡している	280
<input type="checkbox"/>	98	(ケインズ派)AS曲線(総供給曲線)とは、( )が( )物価と国民所得の組合せを示す。	企業の利潤が最大となる	281
<input type="checkbox"/>	99	古典派のAS曲線は( )国民所得)の水準で↓	完全雇用国民所得	300
<input type="checkbox"/>	100	↓( )の形になる。	垂直	301
<input type="checkbox"/>	101	物価(P)が上昇すると、( )賃金率が( )する。	実質賃金率(W/P)が低下	303
<input type="checkbox"/>	102	このとき、(労働 は )する)ため、↓	労働需要は増加	304
<input type="checkbox"/>	103	↓労働市場は(超過 )となる。	超過需要	305
<input type="checkbox"/>	104	古典派は( )賃金率が( )であると仮定するため、↓	名目賃金率(P)が伸縮的	306



□	105	↓(賃金率は )する。↓	名目賃金率(P)は上昇	307
□	106	↓よって、(賃金率は )し、労働市場は均衡する。	実質賃金率(W/P)は上昇	308
□	107	労働市場ではつねに( )が達成されるため、↓	完全雇用	309
□	108	↓物価(P)と関係なく、つねに(国民所得)が達成される。よって古典派のAS曲線は(100)の形になる。	完全雇用国民所得	310
□	109	ケインズ派のAS曲線は通常は( )の形になり、	右上がり	312
□	110	(国民所得)の水準で↓	完全雇用国民所得	313
□	111	↓( )の形になる。	垂直	314
□	112	ケインズ派は(賃金率は )的であると仮定する。	名目賃金率は下方硬直的	318

### ③AD-AS分析

□	113	(古典派)拡張的な財政政策をおこなうと、(曲線は )シフトする。	AD曲線は右(上)シフト	329
□	114	このとき(国民所得は )、↓	国民所得は変化せず	330
□	115	↓(物価は )。	物価は上昇する	331
□	116	よって、(財政政策は )である。	財政政策は無効	332
□	117	拡張的な金融政策をおこなうと、(曲線は )シフトする。	AD曲線は右(上)シフト	333
□	118	このとき(国民所得は )、↓	国民所得は変化せず	334
□	119	↓(物価は )。	物価は上昇する	335
□	120	よって、(金融政策は )である。	金融政策は無効	336

□	121	(ケインズ派)拡張的な財政政策をおこなうと、(曲線は )シフトする。	AD曲線は右(上)シフト	337
□	122	このとき(国民所得は )、↓	国民所得は増加し	338
□	123	↓(物価は )。	物価は上昇する	339
□	124	よって、(財政政策は )である。	財政政策は有効	340
□	125	拡張的な金融政策をおこなうと、(曲線は )シフトする。	AD曲線は右(上)シフト	341
□	126	このとき(国民所得は )、↓	国民所得は増加し	342
□	127	↓(物価は )。	物価は上昇する	343
□	128	よって、(金融政策は )である。	金融政策は有効	344

<input type="checkbox"/>	129	AD曲線が右上シフトしたときに物価が上昇する場合に発生するインフレーションを( )という。	ダイヤモンド・プル・インフレーション	346
<input type="checkbox"/>	130	AS曲線が右上シフトしたときに物価が上昇する場合に発生するインフレーションを( )という。	コスト・プッシュ・インフレーション	348
<input type="checkbox"/>	131	国民所得が減少している状態で、物価が上昇している場合を( )という。	スタグフレーション	350

#### ④フィリップス曲線

<input type="checkbox"/>	132	フィリップス曲線では、( )と↓	名目賃金上昇率	351
<input type="checkbox"/>	133	↓( )の間の↓	失業率	352
<input type="checkbox"/>	134	↓( )関係を表す。	負の相関関係(トレードオフ関係)	353
<input type="checkbox"/>	135	物価版フィリップス曲線では、( )と↓	物価上昇率	359
<input type="checkbox"/>	136	↓( )の間の↓	失業率	360
<input type="checkbox"/>	137	↓( )関係を表す。	負の相関関係(トレードオフ関係)	361
<input type="checkbox"/>	138	完全雇用が達成されているときの失業率を( )失業率という。	自然失業率	386
<input type="checkbox"/>	139	長期的にはフィリップス曲線はこの水準で( )の形となる。	垂直	387

#### ⑤IAD-IAS曲線 (保留)

## 5.経済成長理論

□	140	最適成長(均斉成長)とは、( )市場が均衡している↓	財市場	438
□	141	↓( )成長率)と、	保証成長率	439
□	142	↓完全雇用が達成されている( )成長率)が一致している状態である。	自然成長率	440

### ①ハロッド＝ドーマー・モデル

□	143	資本係数( $v$ )とは、生産量1単位を生産するのに必要な( )を示している。	資本ストック	441
□	144	国民所得( $Y$ )と資本( $K$ )を用いて資本係数を求めると、「( $v =$ )」となる。	$v = K/Y$	442
□	145	ハロッド＝ドーマー・モデルでは、結論として最適成長は( )ことを示している。	実現しにくい	443
□	146	このモデルでは、生産関数は( )型を想定しているため、↓	レオンチェフ型	444
□	147	↓資本係数( $v$ )は( )的である。	固定的	445
□	148	保証成長率( $G_w$ )を、貯蓄率( $s$ )と資本係数( $v$ )で表すと、「( $G_w =$ )」となる。	$G_w = s/v$	446
□	149	資本減耗があると仮定すると、保証成長率( $G_w$ )は、「( $G_w =$ - )」となる。	$G_w = s/v -$ 資本減耗率	465
□	150	労働市場で完全雇用が達成されている自然成長率( $G_n$ )は、( )増加率)と等しい。	労働人口増加率	466
□	151	技術進歩があると仮定すると、自然成長率( $G_n$ )は、「( $G_n =$ + )」となる。	$G_n =$ 労働人口増加率 + 技術進歩率	467
□	152	以上をまとめると、最適成長条件( $G_w = G_n$ )は、「( = )」となる。	$s/v =$ 労働人口増加率	468

### ②新古典派成長モデル

□	153	新古典派モデル(ソロー＝スワン・モデル)では、結論として最適成長は( )ことを示している。	(安定的に)実現する	474
□	154	このモデルでは、生産関数は( )型を想定しているため、↓	コブ＝ダグラス型	475
□	155	↓資本係数( $v$ )は( )的である。	可變的	476
□	156	この生産関数について、資本と労働は( )的で、↓	代替的	477
□	157	これに対して、新古典派モデル(ソロー＝スワン・モデル)では、保証成長率を、貯蓄率( $s$ )と1人当たり生産量( $y$ )と資本装備率( $k$ )を用いて、「( $G_w =$ )」とあらわす。	$G_w = s \cdot y/k$	483
□	158	1人当たり生産量( $y$ )は、国民所得( $Y$ )と労働人口( $L$ )を用いてあらわすと、「( $y =$ )」となる。	$y = Y/L$	484
□	159	資本装備率( $k$ )は、資本( $K$ )と労働人口( $L$ )を用いてあらわすと、「( $k =$ )」となる。	$k = K/L$	485
□	160	労働市場で完全雇用が達成されている自然成長率( $G_n$ )は、( )増加率)と等しい。	労働人口増加率	502
□	161	よって、最適成長条件( $G_w = G_n$ )は、「( = )」となる。	$sy/k =$ 労働人口増加率	503
□	162	資本減耗と技術進歩があると仮定すると、「( = )」となる。	$sy/k -$ 資本減耗率 = 労働人口増加率 + 技術進歩率	504

### ③経済成長の要因分解 (保留)

## 6. 国際マクロ経済学

### ① 国際収支

□	163	一定期間内の一国全体の対外経済取引をまとめたものを( 収支)(balance of payments)といい、↓	国際収支	535
□	164	↓おもに財などのやりとりを示す( 収支)(current balance)と、↓	経常収支	536
□	165	↓資産・負債などのやりとりを示す( 収支)(balance of capital account)に分けることができる。	資本収支	537
□	166	一般的には、国際収支の均衡とは、「( + = )」となる状態を示す。	経常収支+資本収支=0	545

### ② 為替レートの決定

□	167	為替レートの表示の方法について。「1ドル=～円」や「1ユーロ=～円」のような表示を( 建て為替レート)という。	本国通貨建て為替レート	546
□	168	「1ドル=80円」が「1ドル=100円」となる場合、(円 )と表現したり、↓	円安	548
□	169	↓( 減価 or 増価 )と表現したり、↓	減価	549
□	170	↓為替レートが( )したと表現する。	上昇	550

### ③ 経常収支の決定 (保留)

### ④ IS-LM-BPモデル

□	171	BP曲線とは、( )を均衡させる、↓	国際収支	579
□	172	↓( と )の組合せを示す。	国民所得と利子率	580
□	173	経常収支は、(本国通貨建て)為替レート(e)の( 関数)と仮定する。	増加関数	582
□	174	これは、為替レート(e)の上昇は、本国通貨の(増価 or 減価)になるため、↓	減価	583
□	175	↓輸出が( )し、↓	増加	584
□	176	↓経常収支が( )するからである。	改善	585
□	177	経常収支は、国民所得(Y)の( 関数)と仮定する。	減少関数	586
□	178	これは、国民所得が増加すると、輸入が( )し、↓	増加	587
□	179	↓経常収支が( )するからである。	悪化	588
□	180	資本収支は、(本国利子率-外国利子率)( $r-r^*$ )の( 関数)と仮定する。	増加関数	589
□	181	これは、↑が増加すると、資本が(流 )するからである。	流入	590

□	182	一般的にBP曲線の形状は(右 )である。	右上がり	591
□	183	BP曲線の傾きは、資本移動の自由度を示す。資本移動が完全の場合、BP曲線は( )の形になる。	水平	600
□	184	資本移動が無い場合、BP曲線は( )の形になる。	垂直	603
□	185	資本移動が完全でもなく、まったく無いでもない場合は、BP曲線の形状は( )となる。この場合、資本移動が伸縮的か、それとも硬直的かは、BP曲線の傾きで表す。この時、目印となるのは、LM曲線との関係である。	右上がり	606
□	186	(1)資本移動が完全な場合、固定相場制では( 政策)が有効であり、↓	財政政策	609
□	187	↓変動相場制においては、( 政策)が有効になる。	金融政策	610
□	188	(1-1A)資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)財政政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	IS曲線が右シフト	611
□	189	↓(利子率は )する。	利子率は上昇	612
□	190	このとき、(資本が )する。	資本が流入	613
□	191	本国通貨は(超過 )になるため、↓	超過需要	614
□	192	( を維持)するために、↓	為替レートを維持	615
□	193	通貨当局は(外国通貨を )する。	外国通貨を購入	616
□	194	これによって、本国通貨の流通量が国内で( )するため、↓	増加	617
□	195	マネーサプライは( )する。	増加	618
□	196	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	LM曲線は右シフト	619
□	197	↓国民所得は( )。	増加する	620
□	198	よって、資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	有効	621
□	199	(1-1B)資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)金融政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	LM曲線が右シフト	622
□	200	↓(利子率は )する。	利子率は下落	623
□	201	このとき、(資本が )する。	資本が流出	624
□	202	本国通貨は(超過 )になるため、↓	超過供給	625
□	203	( を維持)するために、↓	為替レートを維持	626
□	204	通貨当局は(外国通貨を )する。	外国通貨を売却	627
□	205	これによって、本国通貨の流通量が国内で( )するため、↓	減少	628
□	206	マネーサプライは( )する。	減少	629

<input type="checkbox"/>	207	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	LM曲線は左シフト	630
<input type="checkbox"/>	208	↓国民所得は( )。	変化しない	631
<input type="checkbox"/>	209	よって、資本移動が完全で固定相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	無効	632
<input type="checkbox"/>	210	(1-2A)資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)財政政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	IS曲線が右シフト	633
<input type="checkbox"/>	211	↓(利子率は )する。	利子率は上昇	634
<input type="checkbox"/>	212	このとき、(資本が )する。	資本が流入	635
<input type="checkbox"/>	213	自国通貨は(超過 )になるため、↓	超過需要	636
<input type="checkbox"/>	214	為替レートは( )する。	下落	637
<input type="checkbox"/>	215	これは(増価or減価)であり、	増価	638
<input type="checkbox"/>	216	輸出は( )するため、↓	減少	639
<input type="checkbox"/>	217	↓経常収支は( )する。	悪化	640
<input type="checkbox"/>	218	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	IS曲線は左シフト	641
<input type="checkbox"/>	219	↓国民所得は( )。	変化しない	642
<input type="checkbox"/>	220	よって、資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	無効	643
<input type="checkbox"/>	221	(1-2B)資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)金融政策をおこなうと、( 曲線が シフト)し、↓	LM曲線が右シフト	644
<input type="checkbox"/>	222	↓(利子率は )する。	利子率は下落	645
<input type="checkbox"/>	223	このとき、(資本が )する。	資本が流出	646
<input type="checkbox"/>	224	自国通貨は(超過 )になるため、↓	超過供給	647
<input type="checkbox"/>	225	為替レートは( )する。	上昇	648
<input type="checkbox"/>	226	これは(増価or減価)であり、	減価	649
<input type="checkbox"/>	227	輸出は( )するため、↓	増価	650
<input type="checkbox"/>	228	↓経常収支は( )する。	改善	651
<input type="checkbox"/>	229	よって、( 曲線は シフト)するため、↓	IS曲線は右シフト	652
<input type="checkbox"/>	230	↓国民所得は( )。	増加する	653
<input type="checkbox"/>	231	よって、資本移動が完全で変動相場制のとき、(拡張的)財政政策は(有効or無効)となる。	有効	654



## あとがき

ご利用いただきありがとうございます。

最初にも申し上げましたように、このテキストだけではマクロ経済学の得点をアップするのには不十分です。

ただ、マクロ経済学はミクロ経済学に比べると、個々のテーマの独立性が高いので、パーツごとの学習が可能になります。

このテキストの内容をある程度理解したら、次は過去問の解説にとりかかってください。設問と解説を読むことによって、このテキストに対する理解もより深まっていくことでしょう。

## 「有料版」について

よろしければ「有料版」をご利用いただけるとありがたいです。

『一問一答 マクロ経済学』(有料版)

詳細についてはホームページをご覧ください。

『一問一答 マクロ経済学』

簡易版 2.0 (2016/04/15)

発行  
**経済学道場**

神林邦明

公式ホームページ

<http://keizaigaku.jp>

メールアドレス

[keizaigenron@gmail.com](mailto:keizaigenron@gmail.com)

みなさまのご健闘を祈ります。